

# 地域密着型サービス 運営推進会議報告 令和3年8月31日

事業所名 . . . 看護小規模多機能型居宅介護のぞみ

サービス種類 . . . 複合型サービス

開催 . . . . . 書面での報告

報告者 . . . . . 看護小規模多機能型居宅介護のぞみ管理者 谷口

報告先	岡山市中区地域包括支援センター中区分室旭東地区担当保健師	射矢様
	地域代表者 岡山博愛会保育園長	石田様
	利用者家族代表	畑中様

## 利用状況

R3. 6月

R3. 7月

	(名)
登録者数	14
通所	12
宿泊	7
訪問	6
入院中	2
平均介護度	3.4
短期利用	2

	(名)
登録者数	14
通所	12
宿泊	10
訪問	7
入院中	2
平均介護度	3.2
短期利用	2

## 令和3年6月～令和3年7月行事報告

6月

- 7日 心肺蘇生、糖尿病研修
- 10日 栄養士訪問
- 14日 6月イベント
- 15日 地域清掃活動
- 17日 ピアノ鑑賞
- 22日 医療安全会議  
運営改善会議
- 28日 害虫駆除
- 30日 バイオリン鑑賞

7月

- 1日 ピアノ鑑賞
- 6日 バイオリン鑑賞
- 8日 栄養士訪問
- 15日 ピアノ鑑賞  
実習打ち合わせ
- 27日 医療安全会議  
運営改善会議
- ポリペクトミー勉強会
- 29日 ピアノ鑑賞

## 自己評価

ピアノ鑑賞やバイオリン鑑賞、イベントでは、笑顔や歓声が聞かれ利用者からは満足できる評価をいただいている。一方、個別リハビリ等、体力低下に関する取り組みが今一つである。業務が多種多様にて、スタッフも、その場その場の業務をこなすことに目が向きがちで、個別ケア、チームナーシング、チームワーキングの徹底が今後の課題である。

## 今後の目標

泊まりサービスの利用希望が多く、部屋数に限りがあり、お断りするケースも増え、皆様の要望にお応えできないことが心苦しい。在宅療養において、のぞみが、担うことが出来るサービスの再構築が必要と考える。  
通所や訪問看護、訪問介護サービスを充実させ、施設とは別の在宅での安心安全を提供していきたい。

# 6月イベント



## マジックショー



破いたはずの紙が帽子とバッグに！



## 父の日記念



## 6月お誕生日





# 7月イベント

皆、元気に頑張りました！！



# ボーリング大会



令和3年8月31日

## 地域密着型サービス 運営推進会議報告

事業所名…………グループホーム まこと

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

開催……………新型コロナウイルス感染予防として書面で報告

報告者      グループホーム まこと                      泉  
報告先      岡山市中区地域包括支援センター  
                    中区分室 旭東地区担当                      射矢様  
                    地域代表 博愛会保育園園長                      石田様  
                    入居者家族    柴田様

	入居人数		平均介護度		入院	
	6月	7月	6月	7月	6月	7月
さくら	9名	8名	2.3	1.8	4名	2名
そら	2名	3名	2.0	4	2名	1名

### <入居者状況>

\*6月さくらユニット2名退院。そらユニット1名退去。

\*7月さくらユニット1名退院。そらユニット1名退院。そらユニット1名退去。

### <令和3年6月から7月行事、勉強会報告>

(6月)

6月6日 糖尿病基礎 Web 研修

6月11日～18日 新型コロナウイルス研修(DVD)

6月16日 なんでも勉強会

6月22日 ミッションハウス運営改善会議

(7月)

7月1日 ピアノ・バイオリン演奏会

7月7日 七夕会・行事食

7月13日 身体拘束勉強会

7月15日 バイオリン演奏会

7月27日 行事食

リーダー会議

## ミッションハウス運営改善会議

### <自己評価・今後の目標>

6月は、6名の方が入院され2名退院。1名が退去。7月に2名退院され、1名が退去している。7月に入り大きく体調を崩し入院される方はおられなかった。入院をされた際には、医師や看護師、相談員と連携し情報の共有ができるようにしている。退院後も安心して生活を送れるよう、御幸町クリニックの中尾先生へ細目に状態を報告し経過観察をしている。

活動報告では、初夏を感じてもらえるよう、七夕や土曜の丑の日行事食を計画した。みなさんにとっても好評であり、「美味しかった」「力がついた」「大きいのが出てびっくりした」という声が聞かれた。生活を送る中で、食事が楽しみの一つとなっている。みなさんから食べたい物のリクエストをもらい、少しでも要望に沿えるよう、新しいメニューの検討や見直しをしている。8月には、みなさんに参加してもらい、夏野菜を使ったカレー作りを行った。今後も皆さんに喜んでもらえるような行事や行事食を計画していきたい。

また、今回は令和3年4月～7月までの事故報告を行う。事故の内容として、転倒、転落が一番多く、場所としては、居室やトイレで転倒されていた。事故報告24件中ヒヤリハット件数が15件と少ない。日頃より報告書を出しやすい環境を作り、一人ひとりが意識して取り組んでいくことが必要。同じ事故を繰り返し起こさないようミーティングにて状況の検証、環境の見直し等を行い、職員周知徹底している。

事故を0にすることは難しいが、出来る限り予測を付け0に近づけていきたい。ご家族の方へは、日頃の生活の様子を報告し信頼関係を築けるように取り組んでいきたい。



# ～もう1つの我が家をめざして～

令和3年6月～7月の活動報告  
グループホーム まこと



## <七夕>



6月の下旬より七夕の飾り作りや短冊にお願いごとを書いていただきました。  
みなさん、体のこと、ご家族のことなど短冊に書かれていました。  
七夕の日には、夏らしいゼリーを作ったりや昼食にはそうめんができました。  
みなさんにとっても好評でした。

## ＜演奏会＞



中尾先生によりバイオリンやピアノの演奏会がありました。  
クラシックやみなさんがご存じの童謡、歌謡曲が流れると口ずさまれている姿が見られています。  
曜日は決まってませんが、定期的に演奏会が開かれています。  
また、看多機のぞみでは、博愛会教会の渡辺牧師や博愛会保育園の先生による演奏会も開かれています。  
まことの入居者の方も参加し演奏を楽しまれています。



## <飼育>



7月に入りメダカとエビを飼育しています。  
週に1～2回職員と一緒に水替えをして下さっています。  
エビとメダカの子供も生まれすくすくと成長をしています。  
毎日、みなさん順番にエサやりをして下さっています。

## ＜スイカの収穫、スイカ割り＞



春、花壇に小玉スイカを植えました。

みなさん、散歩へ出かけるたびに水やりやお世話をして下さいました。

7月に入り収穫し、スイカを使ってスイカ割りをしました。

みなさん「右、左」「こっち」など声掛けしながらスイカまで誘導し、力いっぱい叩かれました。

スイカはなかなか割れず、3人の方に交代しながら割っていただきました。

赤く熟しているか心配でしたが、みなさん「甘い」「美味しい」と言われ食べられていました。

来年もスイカ割を計画したいと思います。

## <誕生日会>



7月誕生日会を開催しました。  
今月も職員手づくりのケーキとちらし寿司が好評でした。  
みなさんでケーキを食べられ、にぎやかな誕生日会になりました。

## <行事食>



7月28日は土曜の丑の日にちなんでもうなぎができました。  
「大きいのが出てびっくりした」「力がつきました」「美味しかったよ」とみなさんに喜んでいただけました。  
旬の食事を提供することで、少しでも季節を感じていただけたらと思っています。

# まこと事故報告

まことが開設し10か月が経過しました。  
今回令和3年4月～7月までの事故について報告します。

## <事故報告>

インシデントとは

ミスを犯して、誤ったことを行ったが、結果的には入居者さまには影響がなかった事象。

ヒヤリハットとは

「ヒヤリとした」とも「ハッとした」というように事故に至る可能性のあった事実として発見した場合。

ミスを犯しかけたが、途中で気づき、入居者さまには影響がなかった事象。

アクシデントとは

入居者さまの心身に影響を及ぼし、何らかの処置が必要な場合

<令和3年4月～令和3年7月まで>

ヒヤリハット 15件

インシデント 8件

アクシデント 1件

## <令和3年4月～令和3年7月まで>

### 事故内容

転倒	5件
異食	1件
誤薬、飲み忘れ	3件
離設	1件
破損、紛失	1件
その他	3件

### 発生時間

0時～6時	3件
6時～12時	7件
12時～18時	7件
18時～24時	7件



令和3年4月～令和3年7月まで

<ヒヤリハット 事例>

薬のカレンダーより配薬箱へ移そうとしたところ、薬のカレンダーの中に、違う日のお薬が入っている。

カレンダーから配薬箱へ移す際に気が付いた。

<原因>

処方薬を薬カレンダーの中へ入れる際に日にちを間違えていた。

<対策>

配薬時の際は、本人確認として名前、いつ内服する薬（○食後）、日付を声に出し確認し、職員2人でチェックを行う

## <インシデント 事例>

18時30分 夕食後にユニット入口より帰って来られる姿を発見する。

### <原因>

夕食後、トイレに何度か行かれた後、職員が他入居者の対応等で目を離した間に、ユニットから出て行かれ、帰って来られた。夕食前には、職員とまこと周辺へ散歩に行かれていたが、何かものを探したり欲しいものがあるような話や様子は見られなかった。  
夕涼み感覚で外へ出て行かれたと思われる。

### <対策>

本人へ外へ出る時には、職員へ声をかけるように再度伝える。  
他入居の対応をしても、周囲の観察を行う。

## ＜アクシデント 事例＞

0時10分居室より物音があるため訪室すると、右肩を押さえベッドに座っているところを発見する。痛みの確認し、右肩に痛みある。湿布を貼り朝まで経過観察する。朝になり本人よりベッドから落ちたと報告ある。主治医へ報告。湿布にて経過観察する。翌日夕方、痛みが強く、腫れ、内出血見られる様になる。主治医へ報告し川崎大学総合医療センター整形外科受診し、右鎖骨骨折の診断ある。翌日手術をし、2週間入院されまことへ戻られる。

## ＜原因＞

本人よりベッドに横になり足で布団を蹴っていたところ、体がずれベッドから落ちてしまったと報告ある。訪室した際には、ベッドに座られていたため、ベッドから転落されたのか不明。

## ＜対策＞

居室環境を変えてしまうと混乱される可能性があり、ベッドの位置など居室環境の変更は行わず。頭側よりベッドに乗り降りされていたため、ベッド柵の位置を変更し足元より乗り降りできるように様子観察していく。居室で過ごしている際、用事があればコールを押し職員を呼ぶように声掛け、張り紙をし注意を促す。

# <事故発生時からの流れ>

事故発生・発見



痛みの確認、バイタルチェック



治療、処置が必要な場合



看護師、医師へ報告  
場合によっては入院



家族へ連絡・説明



事故報告書作成、ミーティング



治療、処置の必要ない場合



看護師、医師へ報告



安静にし、経過観察



家族へ連絡・説明



事故報告書作成、ミーティング

## <まとめ>

まことが開設10か月が経過した。

令和3年4月から7月までのヒヤリハット、インシデント、アクシデント件数が24件となっている。

そのうちヒヤリハット件数が15件と数が少ない。

日頃よりヒヤリハット報告を出すことで大きな事故を未然に防ぐことができると言われている。ヒヤリハット報告を出しやすい環境を作り、一人ひとりが意識し取り組んでいくことが必要。

事故を0にすることは難しいかもしれないが、出来る限り予測を立て、0に近づけていきたい。

また、小さなことでもご家族へ報告し、信頼関係を築けるように取り組んでいきたい。

## 第5回 運営推進会議結果

令和3年9月6日

### <ご家族様より>

看護小規模多機能型居宅介護のぞみについて

#### 評価

利用者も増え、行事も安定し安心して利用させていただいています。口腔ケアのおかげで歯を磨くことが難しくなっている」と言われた歯科医より「最近、ケアが来ていますね」と言われたことも有難い事です。

血糖値、排尿、排便等、細かな対処に感謝しています。

#### ご要望

引き続き、歩行、見守りをお願いします。

#### 助言

先日のPCR検査では、戸惑いましたが皆さん変わらず利用させているということは私も含め「のぞみ」に対して居場所をもとめている、頼りにしているということだと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

グループホーム まことについて

#### 評価

特にありません。

#### ご要望

これからもよろしく願いします。大変かと思いますが日々の声掛けをお願いします。

#### 助言

特にありません。

## <岡山博愛会保育園園長>

看護小規模多機能型のぞみについて

### 評価

宿泊や訪問数が増えましたね、宿泊ではお断りするケースも増えたということで、認知されてきていることが伺えます。通所や訪問看護サービスの充実、施設とは別の在宅での安心安全の提供を次の目標にされており、地域に密着してきていることが分かりました。

### ご要望

手作り感のある様々なイベントを行われており、利用者さんがいい顔をされている様子が印象的です。お一人お一人に手作りで製作されていて心が温かくなりますね。大変だと思いますが今後とも是非続けて頂きたいですね。

### 助言

今後とも利用者様さんの笑顔を大切にサービスを提供してください。職員の皆様のご健康を心よりお祈りいたします。

グループホームまことについて

### 評価

活動報告からいつも感じるのは、幼児と高齢者の方の活動はよく似ていることです。様々な活動の中で、やってみよう、楽しい、うれしいなど感じることは生きる上でとても大切なことだと思います。常にいろいろと工夫をされており、利用者さんの笑顔からそういった喜びが伝わってきます。

### ご要望

フェイスタイムでやりとりをと思っているのですが、なかなか進まずすみません。又、相談させて下さい。よろしくお願い致します。

### 助言

事故報告書を拝見させていただきました。命を預かる仕事は危険と隣合わせですよ、利用者の方を守るためにはもちろんのことですが、自分自身を守るためにも報告書を書くようにと保育園でも進めています。まことの皆様は、体力がいるお仕事だと思います。職員の皆様のご健康をこころよりお祈りいたします。

## <地域包括支援センター中区分室旭東地区担当>

看護小規模多機能型のぞみについて

### 評価

令和2年10月開所され1年を迎えようとする中で、自己評価のコメントでは、「個別ケア、チームナーシング、チームワーキングの徹底が今後の課題」となっている。このことから、チームケアの取り組みを強化し、より良い個別ケアに繋げようとしている方向性はよいと思います。

### ご要望

特にありません

### 助言

従業者の認知症研修について、隣接のグループホームまことと共同し、利用者の対応等、サービスの質の確保への取り組みをなさってはいかがでしょうか。

グループホームまことについて

### 評価

6月、7月と入退院が多く職員が医療機関やご家族さまとの連絡調整で、多忙であったと思います。体調の変化で心配されているご家族さまと蜜に連絡をとることで、今後も信頼を積み重ねてください。

ヒヤリハットの段階で事故を未然に防いでいます。今後も引き続き、職員間で細かくコミュニケーションをとることを大切にして情報共有を続けてください。

### ご要望・助言

特にありません